

# \* 関 勝 則 「時代を映した横浜の歌」 探訪。

## 《20》 柳ジョージ&レイニーウッズの「Y.O.K.O.H.A.M.A」 写真:横浜市史資料室

横浜の歌を語るうえで、忘れることができないのは2011(平成23)年に63歳で亡くなられた柳ジョージです。南区で生まれた柳ジョージは、横浜を拠点としたザ・ゴールデン・カップスの後期メンバーとして加入。カップス解散後時をおいて、「柳ジョージ&レイニーウッズ」を結成。1977(昭和52)年に萩原健一主演のドラマ「祭ばやしが聞こえる」の主題歌でデビュー。独特のしゃがれ声とブルースを基盤とした歌唱力で和製クラプトンとも称されました。翌年の「雨に泣いてる」が大ヒットし、さらに1979(昭和52)年、インベーダーゲームや横浜のハマトラファッションが大流行した年に発売された3枚目のアルバムが表題の「Y.O.K.O.H.A.M.A」でした。タイトル通り生まれ育った横浜にこだわった12曲が収録されていますが、なかでも「FENCEの向うのアメリカ」は、接收時代の横浜の郷愁を感じる懐かしい歌として、ずっと残していきたい「横浜の歌」のひとつです。タイトルの通り横浜の基地文化を象徴するこの曲は、当時の本牧のベースを知る人の心をキュンとさせる詞が秀逸です。あの頃本牧通りにずっと続く高い金網のフェンスの向うに憧れを持った人も多かったのではないのでしょうか。

特にアメリカのテレビドラマに出てくるような青々とした芝生の庭やおしゃれな造りの家、カラフルな服を着て庭で伸び伸びと遊ぶ子どもたちを、羨ましかったのではないかと思います。当時の本牧接收地は東京ドーム約15個分。この曲が作られてから3年目の1982(昭和57)年に返還されました。

歌詞のなかに「白いハローの子に追われて 逃げてきたPXから～」というフレーズがありますが、当然ながらフェンスの向うはアメリカですから、基地内のショッピングセンターPXに入ることも、アメリカ人の子どもから追いかけることも、当時の一般的な子どもたちにはとても怖いことでした。ただし、PXで輸入盤のレコードが手に入り、米兵相手のクラブやライブハウスが散在する時代、ザ・ゴールデン・カップスをはじめ、この頃横浜で育ったアーティストたちは、フェンスの向うのポピュラー音楽に影響を受けていたと思われます。



昭和48年当時の本牧PX



### 第1月回区づくり推進市議会議員会議

～地域の皆さまとともにつくる笑顔あふれる磯子～

2月4日に平成最後の区づくり推進市議会議員会議が開かれ、31年度の磯子区予算案の説明を受けて、区長はじめ幹部職員と市議員4名による質疑・意見交換を行いました。新年度予算案は大きく3つの柱に基づいて編成されていますが、今号では新規事業を中心に紹介してまいります。

**魅力にあふれた住み続けたいまちづくり(予算額:4748万円)**

●商店街の店舗をめぐるイベントの実施や「磯子の逸品」を新たに募集・選考し、個店の魅力を発信します。【新規】 ●ガーデンネックレス横浜の関連事業として、区民向けに花の種の配布や杉田臨海緑地の手入れ、区役所前の花時計の植替えなどを行います。

【新規】 ●磯子駅前広場を含む駅周辺、商業ビル、集合住宅等を含んだ魅力あるまちづくりの可能性を探るため研究・検討を行います。【新規】

ともに支えあい健康でいきいきと暮らせるまちづくり(予算額:2772万円)

●子供とのかかわり方に悩む保護者を支え虐待防止につなげるための実践講座の開催や啓発チラシの配布を行うとともに、引き続き地域や関係機関との連携を強化し、子供や家族を見守ります。【重点】 ●自らの健康に関心を持ち、積極的に健康づくりに取り組んでもらうために講座やイベントを開催します。【重点】 ●超高齢社会が進展する中で、高齢者自らが老後を考えるきっかけづくりや、認知症の方々に地域で支え見守る体制作りを進めます。 ●空き家や空き店舗などを活用した地域交流の場を提供する団体を工事経費や運営経費を補助し支援します。【新規】

**安全・安心で住みやすいまちづくり(予算額:2110万円)**

●家具転倒防止器具・感震ブレイカーの設置促進のために、その重要性について啓発を行います。【新規】 ●災害時に女性が安心して地域防災拠点(21か所)で避難生活を送れるよう、女性の視点をいかした物資を配備します。【新規・重点】 ●災害時に安否確認を円滑に行うための「安否確認用バンダナ」を希望する自治会等に配布します。【新規】 ●犯罪のないまちの実現へ、地域・学校・警察が協力し防犯対策を進めます。

**新年度予算案に対する所感**

磯子区が独自で予算編成できる額は1億円弱と厳しい中ではありませんが、区役所が新規事業に積極的に取り組む姿勢を強く感じました。商店街や個店の支援は、私も度々議会で議論し要望しているところで、磯子の逸品の刷新は楽しみな事業です。ガーデンネックレスの取組は、国際園芸博覧会の誘致に向けた機運の高まりに繋がります。磯子駅周辺のまちづくりについては、いよいよ具体的な調査が始まります。私も多くの方々の声に耳を傾けてその可能性を探っていきたく思います。将来を担う子供たちの育成にはこれまでも様々なかたちで取り組んできました。虐待の防止に向けては制度の運用や地域連携の在り方も含め議論を深めていきます。